

講義名称	幼児教育実習Ⅱ<4年>
開講責任部署	大学
講義区分	実習
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	4年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども教育保育学科（4）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24200382

担当教員

氏名	所属
◎ 齋藤 修啓	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
松下 高信	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
永坂 晃子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
岡部 智子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
枝村 美夏	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
木谷 葉子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
川邊 音生	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	4年制保育者養成課程の集大成となる「幼児教育実習Ⅱ」では、保育者としての総合的な視点と保育技術を総動員して実践に臨み、保育者として自立し、自覚することを目指す。
到達目標	理想とする保育者像を意識し、保育観の確立に繋げ、子どもの活動意欲を高める指導・援助法を学ぶ。常に自己分析し、今後の課題を見つけると共に自己の向上を図る。

授業計画表

授業計画表

	【授業計画】
第1回	<p>時期：4年次前期に実施する。</p> <p>期間：幼稚園にて、12日間の連続した実習を実施する。但し、実習園の都合により連続できないこともあり得る。</p> <p>条件：①幼児教育実習指導を受講していること。 ②実習園でのオリエンテーションに参加する。 ③事前体験学習を行い、実習園の行事、対象年齢、実習計画と実習生の実習計画との整合性を図る。 ④実習園の教育方針に従い、適正な実習に努める。 ⑤自己の課題を明確にし、課題に沿った実習計画を立てる。 ⑥養成校の教員による巡回指導を受ける。 ⑦実習終了後、養成校にて行われる事後指導を受ける。</p> <p>内容：①見学・観察実習 ②参加実習 ③部分指導実習 ④全日実習 ⑤研究授業 ⑥反省会。自己課題を明確にし、以後の学習活動につなげる。</p>
	<p>【事前事後学修の内容】</p> <p>①幼稚園における一日の流れ等を再確認する。 ②幼稚園実習Ⅰからの自己課題を明確にして、その克服に努める。 ③幼児教育実習指導を受講し、課題に適切に取り組む。</p>

履修に必要な予備知識や技能	幼児教育実習指導の受講、自己課題の明確化、実習計画の綿密な立案。
課題に対するフィードバック	事後指導を通して、実習での課題に関するフィードバックを行う。
評価方法・基準	実習内容80%（うち実習園からの評価45%）、実習記録と総括レポート20%。
教科書	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、実習テキスト。
実務経験の内容・期間	幼稚園教諭（岡部智子22年）、保育教諭（川邊音生2年）